

# 90GHz帯滑走路面異物検知レーダーの無線設備 に関する技術的条件の検討開始について

---

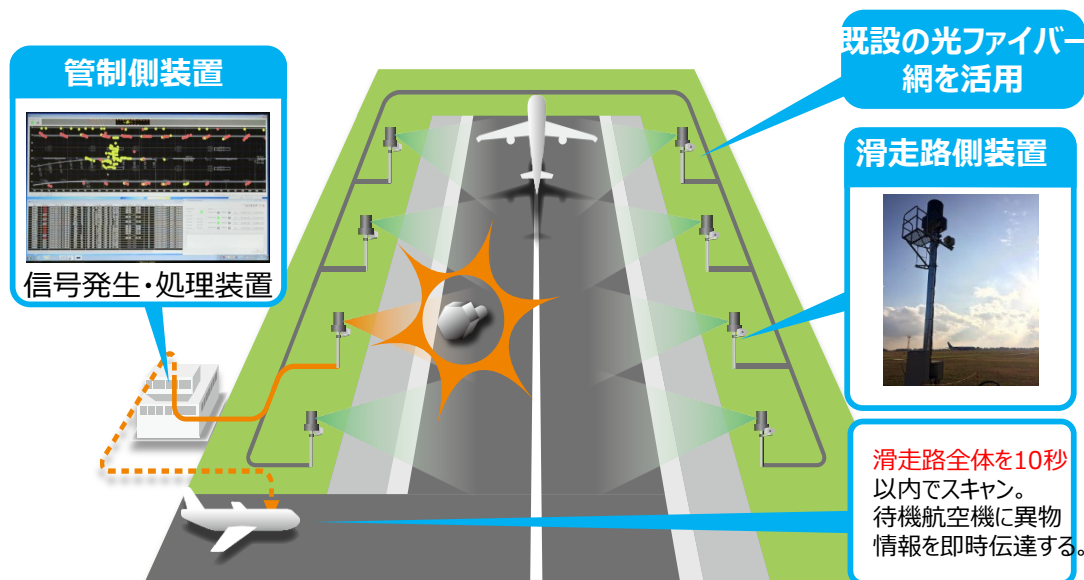
令和2年8月3日  
航空・海上無線通信委員会事務局

## 背景と概要

- ✓ 2000年に発生した滑走路路上異物(FOD※)による航空機墜落事故以降、同様な事故防止のため、滑走路面に落下した金属片をはじめとした異物を検知するシステムの導入が求められている。
- ✓ 近年、光ファイバー技術と90GHz帯の周波数におけるイメージング技術を融合し、小さな異物（3cm程度のボルト等）を正確に検知でき、検知時間や検知範囲を自由に設定可能な滑走路路面異物検知レーダーの導入が検討されている。

以上を踏まえ、今般、90GHz帯滑走路路面異物検知レーダーの無線設備に関する技術的条件について検討を開始するもの。

※FOD: Foreign Object of Debris



## 具体的検討事項

- ◆ 同一周波数帯を使用する他システムとの共用条件
- ◆ 90GHz帯滑走路路面異物検知レーダーの技術的条件の取りまとめ

## 答申を希望する時期

- 令和2年12月頃

## 答申が得られた際の行政上の措置

- 省令改正等、所要の制度整備を実施

- ✓ 90GHz帯滑走路路面異物検知レーダーの使用周波数帯は、92-100GHzで、変調方式は周波数連続変調方式
- ✓ 主な共用対象システムは、電波天文業務、地球探査衛星業務に関するもの

### 周辺周波数帯の使用状況

#### 90GHz帯滑走路路面異物検知レーダーの候補周波数帯

